



私の3冊

仲地宗幸

後輩に薦める 2冊

横田 泉 (著)

こころの科学叢書 統合失調症の回復とはどういうことか

日本評論社, 2012

「この本に出合うまで私は精神科医療を全然わかっていなかった」と思わせるほどの衝撃がありました。難しい言葉は一切なく、漫画を読むようにどんどん読み進めることができます。患者さんのご飯の食べ方、タバコの吸い方、寝方などの生活の一つ一つから統合失調症の病理を考察しており、それはとても納得のいくものばかりです。なんといってもすぐに誰もが始められるポイントがたくさん詰まっています。精神科医療にかかわる後輩には絶対おすすめの1冊です。

中井久夫 (監修・解説)

統合失調症をたどる—中井久夫と考える患者シリーズ1 ラグーナ出版, 2015

精神科医療に勤務している方には一度はやってくる、中井久夫先生の論文に挑みたくなる時期。しかし一人で読み込んでなかなか咀嚼できないという経験を私もしています。そういう方におすすめなのがこの本です。ラグーナ出版という鹿児島県の就労支援事業所において、当事者とスタッフがともに中井久夫論文を紐解き、そして当事者が自分たちの経験に基づいた言葉に置き換えるという画期的な挑戦をしている本です。

自分の 1冊

星野 弘 (著)

精神病を耕す—心病む人への治療の歩み 星和書店, 2002

もう表題からビリビリきました。私自身、治すということや症状を少なくするという意識がうまくいかなかった時期もありますので、この“耕す”という表題には心を驚つかみにされました。そして中身はもう感動の嵐です。患者さんを前にした時にどのように向き合うのか、その礼節から書かれています。構えが定まるとかかわりが安定し、患者さんも自分にも有意義な関係を築くことができるようになりました。『分裂病を耕す』もおすすめです。

■ なかち・むねゆき 作業療法士 (株) NSP キングコング

沖縄県那覇市生まれ、川崎医療福祉大学で作業療法を学び、優秀な成績で卒業。その後、実習地であった高知県の(医)精華園海辺の杜ホスピタルへ入職。古い歴史が残る病院であったが、地域化の流れも強く退院支援や地域生活支援を学ぶ。帰国後は特定医療法人) 葦の会 オリブ山病院にて訪問看護やストレスケア病棟を担当。2011年にはイタリアのトリエステに行き、医療や福祉の枠外に強い関心を持つように。翌年からは(株) NSP キングコングに入職。制度を使わない飲食業で障がい者とともに仕事をしながら社会的可能性を探っている。2014年から同専務取締役。